

1. 真岡市総合運動公園(南ブロック)整備について

(1) 真岡市総合運動公園整備に関するこれまでの経過

真岡市総合運動公園については、平成9年度に「真岡市総合運動公園基本計画報告書」、平成21年度に「真岡市総合運動公園基本構想」がとりまとめられ、さらに平成23年度には、運動公園に対する市民の要望や役割、社会情勢を反映した「真岡市総合運動公園基本計画書」が策定されました。その後、平成24年に北ブロックにおいて「真岡市総合運動公園基本設計書」が作成され、その内容を踏まえた実施設計により北ブロックの西側から施設整備を進め、平成30年度末に北ブロックの公園整備が完了する予定となっております。

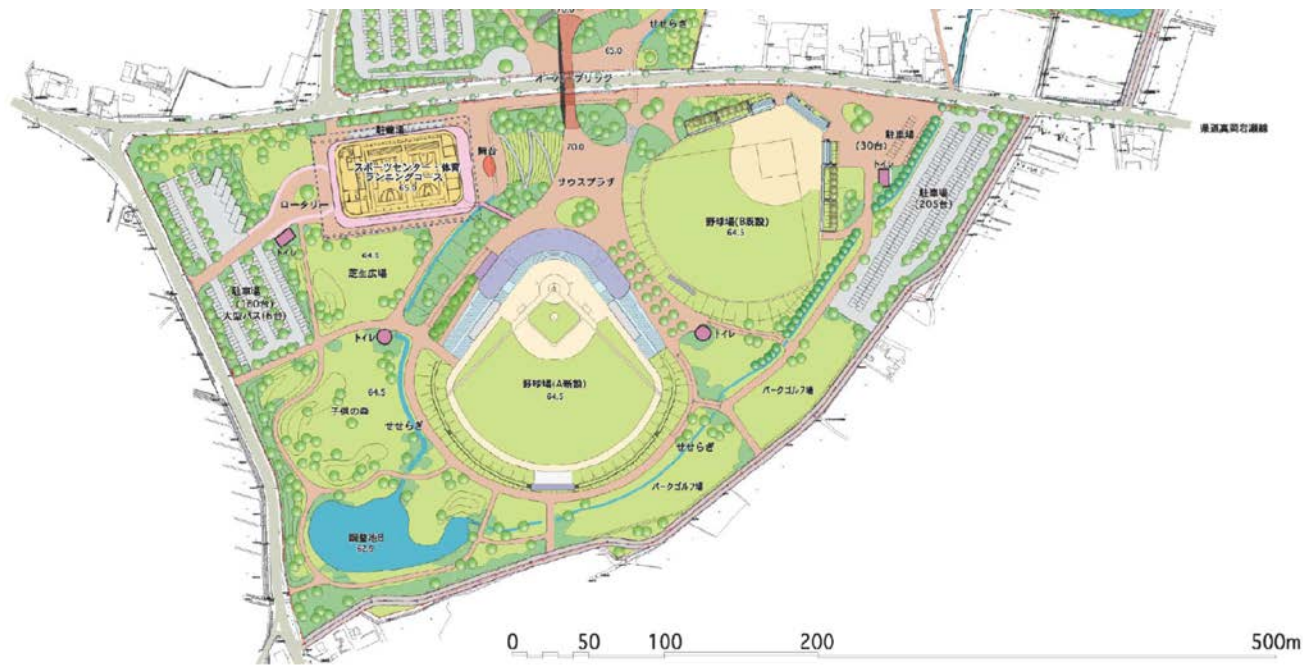
(2) 真岡市総合運動公園南ブロック整備の見直しについて

本市では市民一人一人が、自主的にスポーツ・レクリエーションを行うことにより、心身ともに健康で活力のある生活を実現するため、南ブロックにおいても「真岡市総合運動公園基本計画書」に基づき、平成31年度から整備を進める計画であります。しかしながら「真岡市総合運動公園基本計画書」は、策定から7年が経過し、施設の必要性・市民のニーズ・人口減少などの社会情勢の変化に即した計画の見直しが必要であることから、各種団体や関係者との調整を図り、総合運動公園南ブロック整備の施設計画（案）についてまとめました。

施設名称	基本計画書(平成23年度)	南ブロック基本設計(平成30年度)	整備状況、整備方針
	整備内容	整備内容	
野球場(新設)	○硬式野球場を整備する。 ・高校野球の予選に使用。 ・メインスタンドには屋根を設ける。 ・屋根は平時の屋内環境の改善や省エネ化の装置として利用する。 ・メインスタンドは2,500人収容とし、その他は芝生席とする。 ・建築空間：建築1,500m ² 程度、スタンド及び屋根：1,800m ² 程度 【整備費：1,055,300千円】	○硬式兼軟式野球場を整備する。 ・規模：硬式公認野球場(センター約122m、両翼約98m)プロ野球の独立リーグ(BCリーグ)、高校野球予選に対応。 ・グラウンド：(内野：土舗装、外野：天然芝) ・照明施設：硬式野球の一般競技、軟式野球の公式競技、BCリーグ基準値に準ずる。 ・スコアボード：磁気反転式 ・観客席：内野スタンド約2,000人、その他芝生席 ・スタンド施設：本部室、放送室、審判控室、会議室、器具庫、トイレ等	・本市には、硬式野球対応の野球場が未整備である。高校野球から社会人野球の硬式野球が開催可能な球場として整備し、また、軟式野球での利用や市長杯大会などで、市民レベルの利用促進を図る。
運動広場(人工芝)	・整備計画なし。	○人工芝の運動広場を整備する。(運動広場1) ・規模：日本サッカー協会の主催する大会に対応。(ピッチサイズ105m×68m) ・グラウンド：人工芝 ・照明施設：高水準のトレーニングに対応。	・本市ではサッカー競技の人气が高く愛好者が多いことから、芝養生期間の不要な人工芝の運動場を整備する。また、2022年本県で開催予定の、国民体育大会サッカー会場としての使用を想定している。
軟式野球場(既設)	○既存施設の耐震性と劣化状況を確認の上、建物を活用しながら新たなデザインに合わせて改修する。 ・既存建物は現状の構造、間仕切りのまま改修。 ・グラウンド及び照明塔は既存を流用し、スタンドは屋根を設けない。 【整備費：424,100千円】	○天然芝の運動広場を整備する。(運動広場2) ・規模：軟式野球に対応 ・グラウンド：天然芝(一部土舗装) ・野球の補助球場や、グラウンドゴルフの利用を想定。	・野球大会運営上、隣接して2会場必要であり、補助球場の規模として整備する。また、天然芝の部分はグラウンドゴルフにも利用可能。
スポーツセンター(体育館)	○スポーツセンターを整備する。 ・体育館(バスケットボールコート2面)、武道場(柔道、剣道)、アスレチックルーム、ラウンジ等からなる複合スポーツ施設。 【整備費：3,264,000千円】	・整備計画なし。	・市街地に体育施設が集中しており、市民にとっても利便性がよい。建設コストを考慮し、新たに建設するより、現在の総合体育館、武道体育館、スポーツ交流館等を適正に管理・改修することで長寿命化を図り、総コストを抑える。
センタープラザ	○スポーツセンター及び野球場のエントランスとして、また、簡易なイベント会場として利用できる広場を整備する。 【整備費：177,000千円】	○エントランス広場を整備する。 ・硬式兼軟式野球場に向かうエントランスや、大型バスが旋回できるロータリーを整備。	・硬式兼軟式野球場前で乗降のためのロータリーを設け、歩行者が通行できるスペースを整備する。
芝生広場	○誰もが気軽に楽しむことのできる生涯スポーツ、コミュニティスポーツとして、近年人気が高まっているパークゴルフコースを設置する。 ・一般利用者と交錯しない、敷地の南端外縁部に配置する。 【整備費：21,000千円】	○パークゴルフは競技人口が少ないためコースの整備をせず、来園者が自由に利用できる広場を整備する。 ・硬式兼軟式野球場や、調整池の周辺部に芝生広場を整備する。	・ピクニックや、レクリエーションなど自由に利用できる広場を整備する。
子供の森	○ゆるやかなアンジュレーションの中に遊具等を設置し、子どもたちが自由に安心して体を動かし、遊べる場として利用できる広場を整備する。 【整備費：172,500千円】	・北ブロックに子ども広場及び健康広場が整備済のため、南ブロックには遊具広場等は整備しない。	
憩いの広場	○雨水調整池の一部を修景池として活用するほか、四阿や便所を配して、安らぎと憩いの場として利用できる広場を整備する。 【整備費：22,800千円】	○雨水調整池付近に、芝生広場を配置する。 ・休養施設として四阿を配置する。	・芝生広場として整備する。

施設名称	基本計画書(平成23年度)	南ブロック基本設計(平成30年度)	市内の整備状況、市の整備方針
	整備内容	整備内容	
駐車場	○スムーズに目的施設にアプローチできるよう分散配置形式を採用する。 ・大型車6台(西側)、普通車180台(西側)+235台(東側)=415台 【整備費：126,000千円】	○県道側及び市道側よりスムーズに目的施設にアプローチできるよう分散配置形式を採用する。 ・大型車16台(東側)、普通車337台(西側)+116台(中央)+205台(東側)=658台	・計画最大同時滞在者数の推計値から、本運動公園の面積として、合計約1,000台の駐車場が必要。北ブロックには、普通車323台分の駐車場が整備済みであり、残りを南ブロックで整備する。
トイレ	○トイレと休憩パビリオンをセットにして、周回路の途中に設ける。 ・トイレは男子、女子、多目的便所を基本とするが、設置場所に応じて適宜調整する。 【整備費：92,000千円】	○トイレは、男子、女子、多目的便所を整備する。 ・東側及び、西側の来園者の通行が多い場所に設置する。	・来園者の通行や、利用頻度の高い施設の近くに2箇所整備する。なお、硬式兼軟式野球場のトイレについては、施設閉鎖時でも利用が可能な仕様にする。
防災倉庫	・整備計画なし。	○防災備蓄品配置計画の見直しに伴い、総合運動公園内にも備蓄する。 ・有事の際、倉庫へのアクセス性を考慮し、県道に近い位置に配置する。	・県道に面しており、敷地に余裕がある南ブロックに整備する。また、本公園は真岡市地域防災計画のなかで、防災拠点となっている。
調整池	○雨水調整池を含むスペースで、安らぎと憩いの場として利用できる広場を整備する。 ・駐車場や広場を浅く貯留する「オンサイト方式」を計画する。 【整備費：19,500千円】	○雨水調整池は安全性を考慮し、外周にフェンスを設置する。 ・駐車場や広場の利便性を優先し、「オンサイト方式」は採用しない。	・放流先の水路や河川の最小比流量を基に、放流量や貯留量を計画。
歩行者用連絡通路	○道路により分断される南北のブロックを結びつけ、車両の通行に煩わされず一体的な活動を連続して行うための連絡通路を計画する。 【整備費：342,000千円】	○南、北ブロックの往来をスムーズに行うため、歩道橋を設置する。	・南、北ブロックを安全に往来し、幅広い層の利用者に対応するため、スロープ付き歩道橋を整備する。
ジョギングコース	○近年、人気が高まっているスポーツのひとつであり、市民意向調査でも整備要望が多く、ウォーキング・ジョギングコースを整備する。 【整備費：園路整備に含む】	○市民のニーズが高い、ウォーキング・ジョギングコースを整備する。	・北ブロックでウォーキング・ジョギングの利用者が多く、ニーズが高いため南ブロックにも整備する。
概算事業費	約62.5億円(園路整備、設備等 5.3億円を含む)		

◆平成23年度基本計画における南ブロック計画平面図



◆平成30年度基本設計における南ブロック計画平面図

